

## 2290 | 美術の歴史と鑑賞

2 単位 (通信授業 2 単位)

大坪圭輔教授、三澤一実教授、金子伸二教授、松永康講師、弘中智子講師、齊藤佳代講師

## 授業の概要と目標

学校の美術教育の現場では言語活動を中心とした鑑賞の授業の重要性が高まっている。また教育基本法や博物館法などの改正のなかで、美術館を含めた広範な場所で鑑賞教育の重要性もまた高まっている。

そこでこの授業では、美術科教員、学芸員または美術の社会的普及を目指す立場の者が、古代から現代までの世界の美術の歴史についての基本的な知識を得て、さらに子どもから大人まで誰にでも開かれた美術鑑賞を担うことを目標とする。その際、特定の時代や地域に限定せず、日本の伝統美術やアジアを含めた世界的な美術の交流について、深い知識と実践につながる構想を持つ。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1

日本・東洋・西洋を比較した美術の流れを考える課題。

## ○通信授業課題 2

鑑賞の意義と構想を論じる課題。

\* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

## [通信授業]

- ・『美術 表現と鑑賞』のうち「鑑賞」編の全項目（美術のはじまり～近代の美術／古代からルネサンスまで～ポップ・アート／人物像を見る～古都を歩く）と巻末の美術史年表を中心に学習する。
- ・『美術教育の動向』のうち第 4 章「連携開発」の 2「学校／美術館連携」、3「学校／地域連携」、4「アートプロジェクト」における事例 19～23 を使用する。

## 成績評価の方法

## ◎科目試験

教科書から、日本・東洋・西洋の美術の歴史に関する基礎知識と、鑑賞の工夫を題材に出題する。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい（旧課程履修者は除く）。

## 教材等

教科書：日本造形教育研究会監修『美術 表現と鑑賞』（開隆堂出版）

大坪圭輔・三澤一実編『美術教育の動向』（武蔵野美術大学出版局 2009 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）